

## 第2回 新見市地域審議会全体会 会議要旨

日 時 平成30年7月18日(水)  
午後1時30分～午後3時10分  
場 所 市役所3階 第1委員会室

委員総数：16名 出席者数：11名(欠席：5名)  
傍聴者：なし

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 協議事項

#### (1) 各部会における協議状況

##### ○文化・産業のまち部会

- ・少しでも転出する人をとどめ、少しでも交流人口を増加するための取組となるよう、スポーツの振興、フリーWi-Fiスポット、親子の心の育成などについて協議している。

##### ○福祉・環境のまち部会

- ・市民が住みやすい魅力ある町にすることにより地域を活性化したいということで、「新見市版福祉ボランティアポイント制度」の導入について、協議することとしている。
- ・テーマは「ともに支え合うあたたかいまちづくり」とし、サブテーマを「ポイント制で地域活性化」としている。

#### (2) 第6期新見市地域審議会提言に対する対応状況

##### ○資料に基づき説明

##### 【質疑】

- ・出前授業も大事であるが、子どもたちが主体的に地域について考える取り組みが必要である。  
⇒地域の関わりを深め、商店街の活性化や産業振興などの課題を探し解決策を考える「地域学」の提言をいただいており、今後検討していく。
- ・自主防災組織の強化とあり、今回の豪雨で避難指示が出たが、緊急かつ重要であるという周知が重要。また、避難場所へ避難するまでに危険な場所がある。今後、避難場所の見直しが必要である。(意見)
- ・自主防災組織での連絡網、組織内の連絡網を活用することが有効である。
- ・今回の豪雨で真備地域の方が声かけすることによって避難したケースがある。昨年の部会長が2年目に防災の提言に向けて取り組まれた。今になると重要な提言となった。
- ・今回の豪雨に関して、通行止めなどに関する告知放送の回数が少なかったように感じた。  
⇒告知放送に加え、市のホームページに掲載し周知を行った。

#### (3) 新見市版地域共生社会構築計画案

##### ○資料に基づき説明

##### 【質疑】

- ・地域運営組織の設立において、地元には振興会がある場合、その名称をそのまま使用することは可能か。  
⇒地域が大事にしている名称を使用してください。

- ・地域共生推進センターが完成する予定であるが、何か新しい学科ができるのか。また、その施設の役割について。
- ⇒短大が4年制となり1学部3学科体制となる。地域共生推進センターは学生数が増えるため、教室として利用する。また、地域に開かれた大学として利用できる施設となる。
- ・幼児教育学科が2年制から4年制になる。その違いは何か。また、大学を運営するための費用について。
- ⇒4年制に移行することによって、幼児教育の学問を深め、2種から1種資格が取得できる。大学の運営費用については、授業料と国から運営費交付金で賄っており、市費を支出していることはない。
- ・学生が本市に愛着を持ち、この地に住みたいと思える生活環境の整備ということは具体的に何か。
- ⇒市が実施する駅前西エリア整備により、住民との接点が増え、交流が図られる。また、学生応援の組織づくりの支援も考えたい。

#### 4 その他

- 7月豪雨災害の状況について説明